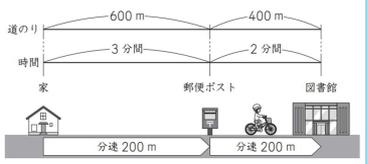
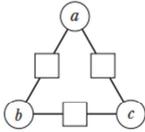


# 令和6年度 全国学力・学習状況調査 分析 (山県市)

教科は、正答率60%以下のうち国や県よりも低い設問から、学びの様子を分析しました。質問紙は、教科とのクロス集計から、学びと認識の関係を分析しました。

	国語	算数・数学	質問紙
小学校	<p>○文中における主語と述語との関係を捉えることに難しさがあります。</p> <p>(例) 「はらっぱじゅうの1もやが、ひかりの雲にかわり、2そして、そのまんなかで、オニグモじいさんの3葉は、かぞえきれないほどたくさんのおきなのお日さままでできているように、きらきら、きらきらと、4まぶしくかがやいています。」 → 部「かがやいています」の主語として適切なものを、1～4の中から選ぶ。</p> <p>言葉と言葉のつながりを正しく理解したり、形容表現を許容したりすることができるようにしていきます。</p>	<p>○速さの意味について理解することに難しさがあります。</p> <p>(例)</p>  <p>家から図書館までの自転車の速さは、分速何mですか。</p> <p>「速さは単位時間あたりに進む道のり」という意味を理解したり、表示された数を実感したりすることができるようにしていきます。</p>	<p>○自己有用感が高い児童生徒は、正答率が高い傾向にあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分にはよいところがある」</li> </ul> <p>○自己の問いに基づいた探究的な学びをしている児童生徒は、正答率が高い傾向にあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「課題解決に向けて自分で考え取り組んでいる」</li> <li>・「学んだことを生かしてまとめている」</li> <li>・「分かった/分からないを次につなげている」</li> </ul> <p>○生活の中の出来事について主体的に話し合う児童生徒は、正答率が高い傾向にあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学級会で話し合い、よさを生かして解決している」</li> <li>・「話し合いを生かし、すべきことを決定している」</li> </ul>
中学校	<p>○3年前(小6時)に比べ、「言葉の特徴や使い方」「書くこと」が全国平均を上回りました。</p> <p>○他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることに難しさがあります。</p> <p>(例)話し合いの最後の発言を受けて、あなたならどのような考えを述べるか。条件①のように本を選びたいか具体的に書く。②誰の発言と結びつくのか分かるように書く。</p> <p>自分と他者の考えの距離(沿うのか、異なるのか、折衷なのか等)を捉えられるようにしていきます。</p>	<p>○3年前(小6時)に比べ、「変化・関数」「図形」「データの活用」が全国平均を上回りました。</p> <p>○目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして説明することに難しさがあります。</p> <p>(例)</p> <p>○に入れた整数を <math>a</math>、<math>b</math>、<math>c</math> とすると、3つの□に入る整数は、<math>a + b</math>、<math>b + c</math>、<math>c + a</math> と表される。それらの和は、</p>  <p><math>(a + b) + (b + c) + (c + a)</math> =</p> <p>「□に両端の○の和を入れるとき、□に入る整数の和は○に入れた整数の和の2倍になる」という予想が成り立つことを説明する(点線枠の式に続いて)。</p> <p>数や記号を用いて、物事を数学的に処理(数学化)できるようにしていきます。</p>	<p>○「言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する」という国語の資質・能力が、算数・数学の正答率の高さと強く関連しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「国語では材料を整理して伝えたり、話題や展開を捉え発言を結びつけてまとめたりしている」</li> <li>・「国語では目的に応じて書いたり、表現の効果を考えて書いたりしている」</li> </ul> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己決定の場を、授業で積極的に設定していきます。</li> <li>・表現する学習活動の充実を図ります。</li> </ul>